

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年9月10日				
スキップ瀬名						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		自由遊びの時間は、スペースが狭く感じる時もあるが、目が届くスペース作りはできている。	ただし、身体の大きな高学年児童が多い日は、手狭に感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		送迎時でも常に2人以上、指導訓練室に職員配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内の段差がなく安全面に配慮された環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		季節に応じて座布団や敷布団を変えたり心地よく過ごせるよう配慮している。	気持ちを落ち着かせる部屋が必要な時もあるため、多目的ルームの利用も今後検討していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	多目的ルームを活用して季節ごとのイベント（母の日・父の日のビデオレターなど）で使用することもある。	2階の多目的ルームは、現在面談室として使用している。1階部分は仕切りがないため、個別に使用することができない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ケース会議を都度行い、保護者・利用児側のニーズをくみ取れる支援につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に行っているミーティングで意見交換をして職員間で共有できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		第三者委員の評価を聞く機会を設けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		今年度から事業所内での職員スキルアップのための勉強会を定期的に実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		ママに情報交換できている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		定期的にケース会議を開催しニーズや課題を共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		各児童の個別支援計画を全職員が見やすい場所に置き、常に意識できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		日々の支援記録の記入とミーティング・ケース会議等での共有をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		職員間で情報の共有をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		行えている。相談もしやすいです。支援記録の記入の際、個別支援計画を把握できるよう工夫して見れるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		児童の「やりたい」を尊重している。夏休みなどの学校休業日のイベントを企画して担当を決めて実行している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動の内容を明確にした個別支援計画になっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		定期的に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		支援終了後は、それぞれ送迎に出発するため、翌日以降の業務の中で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		つなげている。共有しておきたい内容は伝え合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		行えていると思うし、1年生（低学年）は成長を感じている。自立できる考え方を提案して児童からの発言を促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて、学校参観させていただいている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	法人内の児童発達支援からの継続の児童が多いため、十分な情報を得られている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	今のところ、対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	相談支援専門員との連携を図っていて、保護者会の時にスーパーアドバイザーとして研修に参加する機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	学校休業日の時に放課後児童クラブへ迎えに行く機会があり、情報交換を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者交流会を定期的に開催している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時・面談時に丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもや保護者からの相談・申し入れには、迅速かつ適切に対応している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		連絡帳に相談が多く記入されている。その日のうちに返事をしているため、保護者は安心して思う。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会開催前、アンケート調査をして困りごと等の意見を聞くことにより保護者同士の交流しやすい環境を作っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムを活用して日々の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報同意書をもって、保護者へ説明して個人情報の取り扱いには十分注意払っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		意思疎通の手段として提出物での情報交換を行っている。日々の連絡ノートを活用して情報交換を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	季節ごとの行事の時には、ご近所との交流を図っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練の実施で改善する箇所をマニュアルに反映させている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難経路を数か所確認して訓練をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシートに必要な情報を記入していただき対応をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アセスメントシートに必要な情報を記入していただき対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年度初めに安全計画を作成し、計画に合わせた取組をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画の取り組みを周知・掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハット報告書に記録をとって、その都度話し合う体制をとっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に向けた研修会を定期的に開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束適正化委員会・研修会を定期的に開催している。	